

第4回 事業推進委員会・議事録

開催日 : 平成15年 6月 11日 (水) 午後5時から午後7時
 場 所 : 京情協 事務所内・会議コーナー (敬称略)
 メンバ : 委員長 京都電子計算(株) 植田 弘毅
 副委員長 (株)京信システムサービス 須磨 光
 委 員 アド・プロヴィジョン(株) 河合 博康
 委 員 けいしんシステムリサーチ(株) 出野 信夫
 委 員 (株)ケーケーシー情報システム 小林 聡 (欠席)
 委 員 島津エス・ディー(株) 山本 孝
 委 員 総合システムサービス(株) 古川 峰生
 委 員 竹菱電機(株) 木村 道也
 委 員 ワールドビジネスセンター(株) 山口 正純
 委 員 京都コンピュータ学院 吉村 敬史
 事務局 奥村 良三

主たる議題 (議事進行は植田委員長が行う)

- 1 委員長よりの近況報告および当面の課題討議
- 2 事務局報告
- 3 各委員長報告および課題討議
- 4 その他

1 委員長よりの近況報告および当面の課題討議

次号協会誌への事業推進委員会・紹介記事の提示を行われ、全員これを了承する。

全会員宛、各委員会への参加勧誘文書の提示が行われ、全員討議のうえこれを了承し、配布は次号発行の会報誌送付時(7月)にする。

「ケータイ国際フォーラム第1回実行委員会報告」・京情協は植田委員長に実行委員を付託。

開催日時 平成15年5月22日(木) 11:00～12:00

場 所 京都商工会議所 役員室

委員構成 ケータイ国際フォーラム推進会議・・・山田知事以下8名

ケータイ国際フォーラム実行委員会・・・立石副会頭以下15名

事務局・・・商工会議所、京都府、京都産業21など

会 期 平成16年3月17日(水)・18日(木)の2日間

事業内容 テーマ 「アジアとケータイ社会～本格化するユビキタス社会とケータイ」
 ～日本、中国、アジアの連携によるケータイ産業の発展を目指して～

総予算 9500万円～財源は分担金・協賛金・出展料より賄う。

* 当協会にも協賛金が例年どおり求められるだろう。

2 事務局報告

5月28日の総会・講演会・交流会は盛況裡に終了した。

欠席の17社には総会決議報告とともに、講演会資料など送付した。なお、中センでは講演会内容をセンターの7月発刊物に掲載される予定である。(当会員にも配布予定)

3月および5月の総会決議事項は、行政所轄官庁(京都府)に届け済み。登記変更事項は現在法務局に申請中で近日中に完了予定。

当協会会費・15年度上期分請求書は6月10日便送済み。請求総額 299万3千円。

「JISA交付金および補助金」申請のためのテーマ抽出を、各委員会より7月末日までに事務局に提出のこと。

3 各委員長報告および課題討議

3.1「広報委員会報告(河合委員長より)」

会報次号の発行は6月18日委員会で内容確認し、7月初旬の予定。

3.2「技術委員会報告(山本委員長より)」

6月10日委員会を開催し、身障者のパソコンリテラシーアンケート調査結果から、次ステップに向けての検討中。

情報化月間のオープンフォーラムのテーマは、まだ素案の段階であるが

ユビキタス社会にあって「印刷業界におけるＩＣタブの今後の展開と取組・・・」はどうか考えているが、さらに委員会で吟味する。

ＳＥ研究会成果の発表会を、どのような内容にするかを検討中である。

3.3「地域情報化委員会報告(古川委員長より)」

取組む事項を整理してWGを設定でもって活動して行く。

3.4「経営委員会(木村委員長より)」

5月28日の結果報告

	総会	講演会	交流会
参加人数	60名	158名	61名
注・講演会は名刺確認人数で実際はさらに多く、約170～85名くらい。			
費用			
ばるるプラザ—分	128,252 円	127,850 円	259,185 円
講師料		50,000 円	
資料コピー代	23,340 円	57,330 円	
郵送代	23,150 円		
計	174,742 円	235,180 円	259,185 円
予算	120,000 円	200,000 円	(260,000 円徴収額)
対予算差額	+ 54,742 円	+ 35,180 円	- 815 円

情報交換広場の実施については、6月の臨時委員会で検討する。

各委員会の活動予定をまとめ、HPなどに掲載して欲しい。

* 当件については、事務局に各委員長より提出を受けまとめる。

4 その他

「ANIA かながわ大会～6月17日・18日」には当協会より5名参加する。

次回委員会は、平成15年7月9日(水) 午後5時より 事務局・会議室にて行う。

以上